

消防団員募集 あなたと一緒に守りたい

7月号は第8分団(上宿・小田井)の紹介になります。

第8分団キャッチフレーズ

「マイルドな雰囲気第8分団」



私たちの主な活動は、消防資機材や消火栓の点検、広報活動です。もちろん火事などの有事の際にも出動します。第8分団は上宿・小田井区を担当し、20代前半の若者から40代の面白いおじさんまでが、各々の個性を尊重しマイルドな雰囲気で活動しています。そんな私たちと「自分の家族、家、地域を守る」そんな活動を一緒にしましょう。

分団長：市川 充 副分団長：浦木 聖輝 団員数：17名(令和5年5月1日現在)

●消防団入団資格

・18歳以上であること ・町内に居住または勤務していること

●消防団員の身分・処遇等

・消防団員は非常勤特別職の地方公務員であり、階級に応じた報酬と出勤手当が個人に支払われます。
・5年以上勤続して退団した場合には、階級及び勤務年数に応じて退職報償金が支給されます。

問い合わせ先

消防課消防係
(32)0119
(御代田消防署内)

編集後記

夏を感じさせる陽気が続いています
が、皆さまいかがお過ごしでしょうか。
今年度より広報主任を任せられ、初めて
「広報やまゆり」の編集に関わることになり
ました、谷口と申します。初めてのことで慣れない
作業ですが、他課のイベントやお知らせにも目を向け
ることが出来るので、少し楽しみな作業でもあります。
さて、町では昨年に引き続き、「浅間国際フォトフェ
スティバル2023 PHOTO MIYOTA」が7月15日(土)
から開催されます。昨年はコロナ禍にもかかわらず、

会期中に約2.3万人の来場があり、夏の暑い日にも多
くの人でにぎわっていました。今年はアートフォト以外
にも、ワークショップやマルシェ、作家によるトー
クショーの開催を予定しているほか、昨年はできなかつ
た、キッチンカーなどの出店も計画しています。
イベントも盛りだくさんなので、アートフォトに興味
のある方もそうでない方も、ぜひ一度、足を運んでみて
ください。皆さまのお越しをお待ちしております！
地域振興係 谷口

広報に関するご意見、ご感想をお寄せください。また、掲載された写真をお譲りしますので、役場総務課14番窓口にお越しいた
だか、電話でご連絡ください。ただし、ご希望に添えない場合もあります。ご了承ください。●総務課情報防災係
みよた広報 やまゆり ●発行/御代田町 〒389-0292 長野県北佐久郡御代田町大字馬瀬口1794番地6 ☎0267(32)3111

<https://www.town.miyota.nagano.jp/>

保健センターだより

問い合わせ先 保健福祉課健康推進係 (32)2554

子宮頸がんを予防しましょう!

～子宮頸がんの現状～

子宮頸がんは子宮頸部という子宮の出口に近い部分にできるがんです。子宮頸がんは、若い世代の女性のがんの中で多くを占めています。

日本では毎年1.1万人の女性がかかる病気で、さらに毎年2,900人が亡くなっています。

患者さんは20代から増え始め、30代までにがんの治療で子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)人も1年間で1,000人います。

子宮頸がんにかかる仕組み

子宮頸がんの原因は長らく明らかになっていませんでしたが、1982年に子宮頸がんのほとんどがヒトパピローマウィルス(HPV)というウィルスの感染で生じることが発見されました。

HPVに感染してもすぐにがんになるわけではなく、いくつかの段階があります。

HPVに感染してから子宮頸がんに行進するまでの期間は、数年～数十年と考えられます。

ワクチン

HPVは、女性の多くが“一生に一度は感染する”といわれるウィルスです。

感染しても、ほとんどの人ではウィルスが自然に消えますが、一部の人でがんになってしまうことがあります。

現在、感染した後どのような人ががんになるのかわかっていないため、感染を防ぐことががんにならないための手段です。

疫学調査では、HPVワクチンを導入することにより、子宮頸がんの前がん病変を予防する効果が示されています。

また、接種が進んでいる一部の国では、子宮頸がんそのものを予防する効果があることもわかってきています。

日本では、小学校6年～高校1年相当の女の子を対象に、ワクチン接種を提供しています。

ワクチンと検診

ワクチンを接種していても、子宮頸がんにかかることもあります。

そのため子宮頸がん予防の観点で重要なのは、ワクチンの接種と2年に一度のがん検診を続けていくことです。20歳を過ぎたら子宮頸がん検診の受診をはじめましょう!

Kids generation

